

# Wall Mount Bracket YM-80

<b>中文（简）</b> 用户说明书	<b>Polski</b> Instrukcja Obsługi
<b>日本語</b> 取扱説明書	<b>Suomi</b> Käyttäjän opas
<b>English</b> User's Guide	<b>Česky</b> Návod k použití
<b>Deutsch</b> Bedienungsanleitung	<b>Norsk</b> Bruksanvisning
<b>Français</b> Mode d'emploi	<b>Lietuvių</b> Naudotojo vadovas
<b>Español</b> Guía del usuario	<b>ไทย</b> คู่มือผู้ใช้
<b>Italiano</b> Guida dell'utilizzatore	<b>Bahasa Indonesia</b> Pedoman Pemakaian
<b>Svenska</b> Instruktionshäfte	<b>Bahasa Melayu</b> Panduan Pengguna
<b>Русский</b> Инструкция по эксплуатации	<b>Tiếng Việt</b> Hướng Dẫn Người Sử Dụng
<b>Português</b> Guia do Usuário	<b>中文(繁)</b> 用戶說明書
<b>Türkçe</b> Kullanım Kılavuzu	<b>한국어</b> 사용설명서
<b>Nederlands</b> Gebruiksaanwijzing	<b>العربية</b> دليل المستخدم

版次：2014年7月  
日本印刷

# 壁掛け金具

## YM-80

### 取扱説明書

- この説明書は、お読みになった後も大切に保管してください。
- 本書の最新版は下記ウェブサイトに掲載されています。  
<http://world.casio.com/manual/projector/>

### 目次

安全上のご注意 .....	JA-2	カバーの取り付け .....	JA-18
使用上のご注意 .....	JA-3	定期点検について .....	JA-19
内容物のご確認 .....	JA-5	お問い合わせ先 .....	JA-19
設置のしかた .....	JA-6	製品仕様 .....	JA-19
位置、傾き、角度の調整のしかた .....	JA-13		

本製品はカシオ製データプロジェクター用の壁掛け金具です。




- 取り付け不備、組み立て不良、取り扱い不備による事故、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に使用されているイラストは、取扱説明書用に特別に作成されたもので、一部、実際の製品と異なることがあります。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

# 安全上のご注意

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

## 絵表示について

この取扱説明書および製品での表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。  
(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。  
(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。  
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

## 警告



本製品は、十分な技術、技能を持った取り付け工事専門業者が施工を行うことを前提として販売しています。専門業者以外のかたは施工しないでください。落下事故などの原因となります。



不完全な組み立ては、落下事故などの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 強度が十分に確保できるように、適切な方法で組み立てる
- ネジは完全に締め付ける



本製品はプロジェクターを取り付けると、約11kgになります。取り付けの際には、次のことは必ずお守りください。

- 使用するアンカーやボルト類の許容荷重を計算する
- プロジェクターの構造、強度を十分に確認して、最適な方法で取り付ける



プロジェクター本体使用時には、必ずアース接地を行ってください。

# 使用上のご注意

## ⚠ 警告



- 本製品の角度調整は回転式ではありません。傾き／角度を調整後は、ネジを締めた状態で絶対に回転させないでください。設置後の傾き／角度調整は工事専門業者で行ってください。落下事故の原因となります。
- 取り付け施工後は、ボルト、ビス、ナットを絶対に緩めないでください。落下事故の原因となります。
- 部品の欠落が確認された際は、すぐに設置状態を点検して下さい。
- 本製品に絶対にぶらさがったりしないでください。落下事故、けがの原因となります。
- プロジェクターの設置に関するメンテナンスを行う場合には、必ず工事専門業者で行ってください。
- プロジェクターのメンテナンスについては、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
- プロジェクターや壁掛け金具の上に重い物をのせたり、上に乗らないでください。
- プロジェクター本体の吸気口や排気口をふさがないように設置してお使いください。吸気口や排気口にほこりがたまっていないことを確認した上で使用してください。ほこりがたまっている場合は、清掃してからお使いください。
- 壁掛け金具を設置する時や、製品設置のために各部を調整する時は、金具に手を挟まないようにご注意ください。
- 指定以外のネジは、絶対に使用しないでください。プロジェクターの落下などの事故やけがの原因となります。
- 壁掛け金具は決して改造しないでください。(改造した場合の強度保障はできません。)

## 設置場所に関するご注意

- 次の場所には設置しないでください。
  - ・ 高温や低温のところ
  - ・ 屋外
  - ・ 振動の多い場所
  - ・ 調理台のそばなど油煙が当たるような場所や、たばこの煙が多い場所
  - ・ 湿度の高い場所
  - ・ 水場や風呂場などの水に濡れるところ
  - ・ ぐらついた場所や傾いた不安定な場所
  - ・ 店舗の入り口付近(風雨の影響を受けるおそれがあります。)
- プロジェクターを設置する際には、蛍光灯やエアコンなどの電気製品から離してください。蛍光灯の種類によっては、プロジェクターのリモコンが誤動作する場合があります。
- プロジェクターのエラーなどの解除、内部回路の保護および、省エネルギーのために、プロジェクター本体の電源キーで電源オフできるように設置してください。
- ノイズなどのない最適な投映画面にするため、パソコンなどと接続するケーブルは10m以下にすることをオススメします。また、ACコードと接続ケーブルは離して接続してください。
- レンズや内部の光学部品に汚れが付かないよう、ほこりや湿気の少ないところに設置してください。
- 直射日光などの入る部屋では、カーテンを引くと投映画面が見やすくなります。
- プロジェクターからの光や熱風で、周囲が変色することがあります。
- 人と接触する高さの壁面はさけてください。もしも設置する場合は、頭などがぶつからないようにご注意ください。
- プロジェクターの投映光が照射される側に向く面は、壁(スクリーン)から6cm以上、それ以外の向きは壁から30cm以上離して設置して、その範囲内には物を置かないでください。

### コンクリート構造の場合



- 壁に取り付ける際には、プロジェクターと壁掛け金具の重量および、横ゆれに十分耐えられるように、適切な部品（ナット、ボルトなどはM10）を使用してください。落下事故の原因となります。
- 取り付けの強度不足などによる落下事故につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

### しっくい壁などの場合

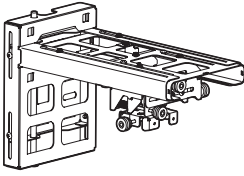
- しっくいの壁など、表面の強度が低い壁に固定する場合は、アンカーボルトを内部のコンクリート面に打ち込んでください。
- 最低8カ所以上、アンカーボルトで取り付けてください。

### 壁掛け設置時のお願い

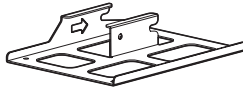
お客様により安心して壁掛け設置でご使用いただくため、カシオデータプロジェクターの壁掛け金具にはプロジェクター本体の落下を未然防止するワイヤーが付属しています。設置時には、必ず、ワイヤーをプロジェクターと金具に取り付けてから製品を設置してください。

# 内容物のご確認

パッケージには以下の内容物が含まれていますので、ご確認ください。



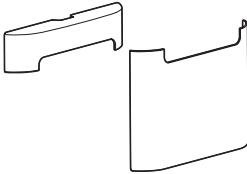
壁固定プレートと金具本体



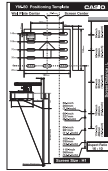
プロジェクター固定プレート



アームカバー



壁固定プレートカバー上・下



位置決めシート

- M4×10ダブルセムスネジ 4本  
(プロジェクター取り付け用)
- M5×10ダブルセムスネジ 3本  
(プロジェクター固定プレートを金具本体に取り付けるときに2本、落下防止ワイヤーを取り付けるときに1本使用)
- 落下防止ワイヤー
- 取扱説明書

## お客様でご用意頂く物

- アンカーボルト (M10 8本以上)
- 工具類 ドライバー、レンチ (調整用)

## 重要!



- 梱包を解いた時、壁掛け金具のネジは仮留めの状態になっています。取り付けの前に必ず十分に締め直してください。落下事故などの原因となります。

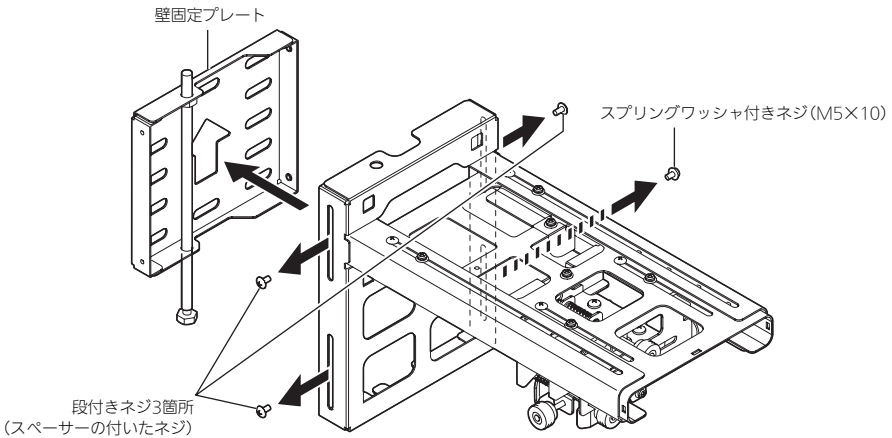
# 設置のしかた

## 設置時のご注意

- 設置作業は、本書に従って、正しく確実に行ってください。各部のネジや金具・部品などは全て確実に取り付けてください。
- 壁掛け金具を設置する壁面が、プロジェクターおよび壁掛け金具の荷重に耐えることを事前にご確認のうえ、取付設計、施工をお願いします。
- 設置作業の前に、必ずプロジェクターの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。
- 設置作業中は、プロジェクターが落下しないよう、ご注意ください。
- 小さい部品の取り扱いに注意してください。お子様やペットが飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。
- プロジェクターの壁掛け固定部にネジのゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・潤滑油などを使用しないでください。ケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やケガの原因となります。
- 取付調整後、各部のネジが正しく締まっていることを確認してください。  
ゆるみや過度の力による締めつけがないように注意してください。
- 本書および付属品は、設置が終わりましたら、大切に保管してください。

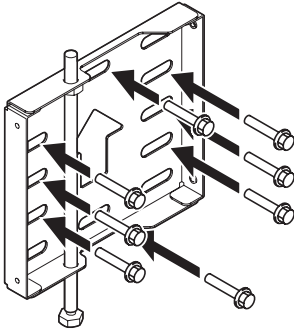
## 1. 金具本体から壁固定プレートを外す

ネジ4箇所を外して、壁固定プレートを外します。



## 2. 壁固定プレートの取り付け

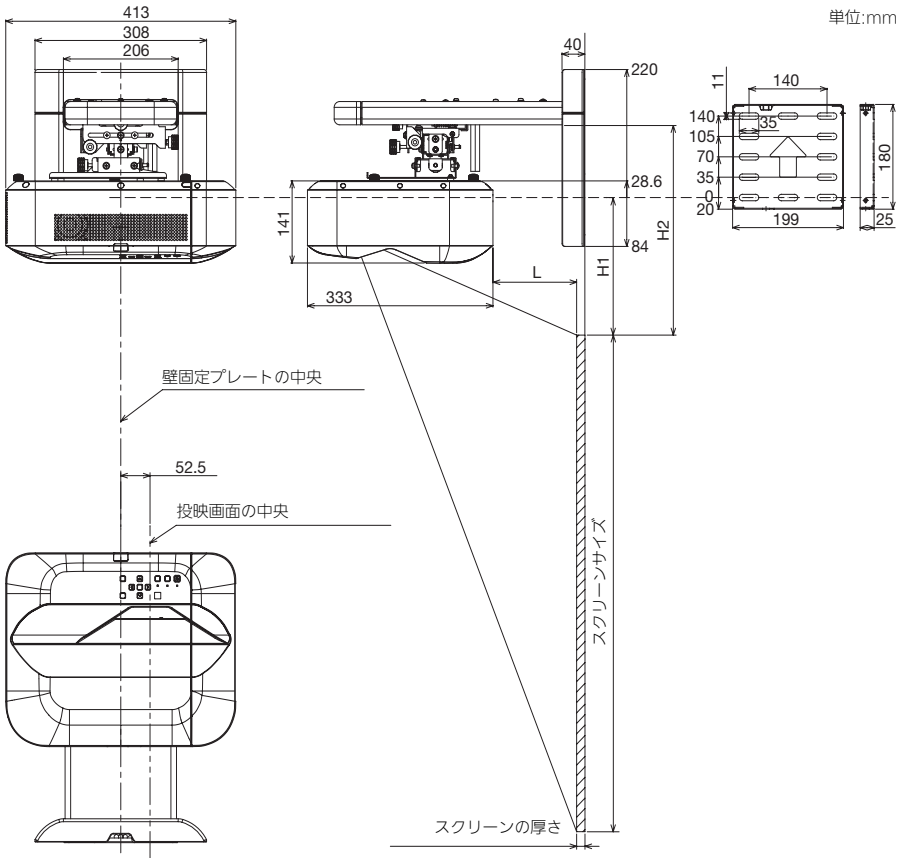
1. 「スクリーンサイズと壁固定プレートの取り付け寸法図(JA-8ページ)」を参考に、取り付け位置を決めます。
2. 「壁固定プレートの取り付け穴の位置決め(JA-9ページ)」を参考に、壁に穴を開けます。
3. 固定プレートをアンカーボルトで壁に取り付けます。





スクリーンサイズと壁固定プレートの取り付け寸法図

単位:mm



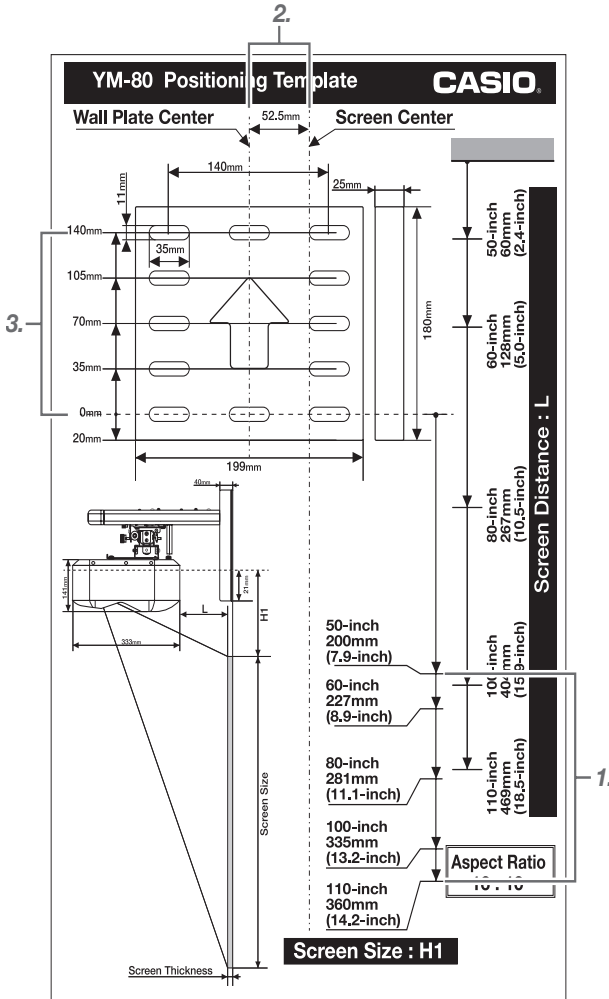
[画面設定]アスペクト比:フル(1280×800)

スクリーンサイズ (型)	L (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)
50	60	200	325
60	128	227	352
80	267	281	406
100	404	335	460
110	469	360	485

● 投射距離の数値は、設置の際の目安です。

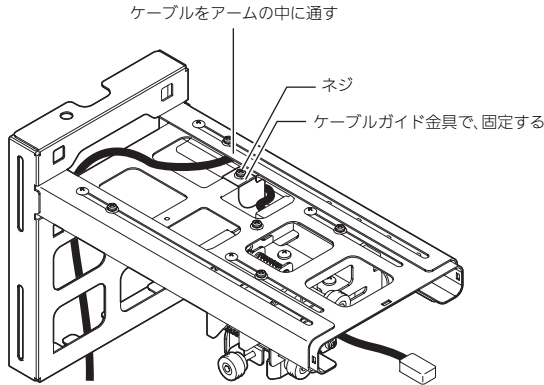
## 壁固定プレートの取り付け穴の位置決め

1. 位置決めシートの縦方向を投映画面の上辺の位置に合わせます。
2. 位置決めシートを投映画面の中央に合わせます。
  - 壁固定プレートの中央は、投映画面の中央から右へ52.5mmの位置です。
3. 位置決めシートの図に合わせて壁に穴を開けます。



## 3. 金具本体を壁固定プレートへ取り付け

1. ネジ1箇所を外して、ケーブルガイド金具を外します。
2. ケーブル類を、金具本体に通します。
3. ケーブルガイド金具を元の位置に付け、ネジを締めて固定します。



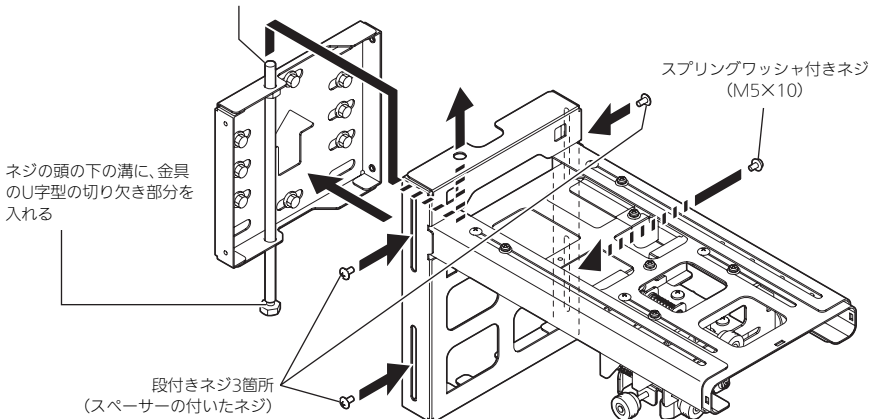
### 重要!

- ケーブル類は上記の場所を通し、傷付けないように注意してください。
- アームの中にケーブルを無理に押し込まないでください。

4. 金具本体を元のように壁固定プレートに取り付けます。段付きネジ3箇所をしっかりと締め、スプリングワッシャ付きネジは、軽く締めます。

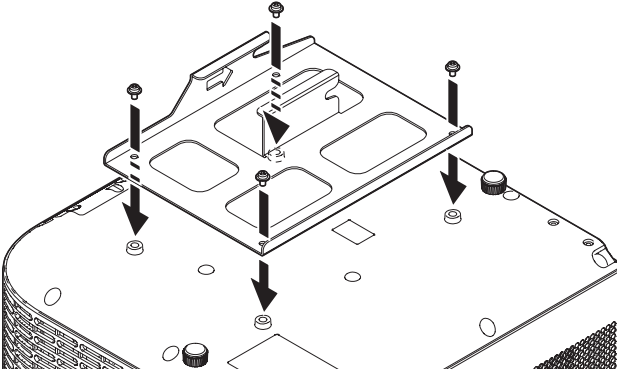
- 段付きネジを締めても金具は上下に動かさず。
- スプリングワッシャ付きネジは、図の位置に使ってください。後で高さを調整するため、軽く締めておきます。

壁固定プレートの上下調整ネジを、金具本体の穴に入れる

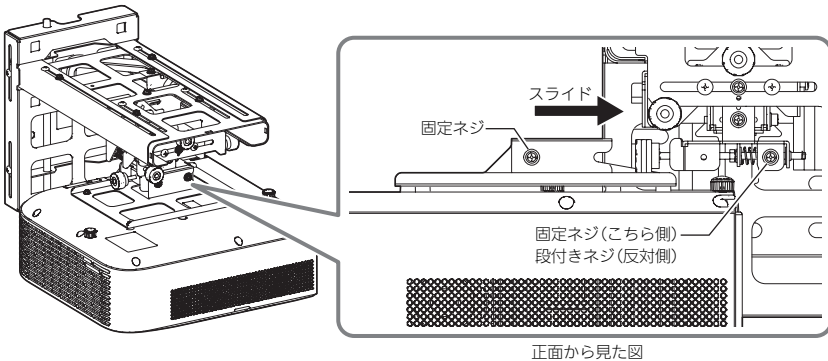


## 4. プロジェクターの取り付け

1. 付属のネジ(M4×10)4本でプロジェクター固定プレートを、プロジェクター本体に取り付けます。

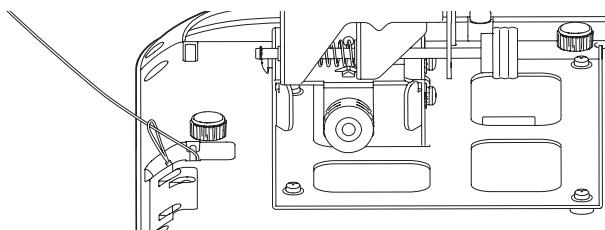


2. プロジェクターを金具本体にスライドし、段付きネジ1箇所につり掛けて取り付けます。
3. 付属の固定ネジ(M5×10)2本を入れて締めます。

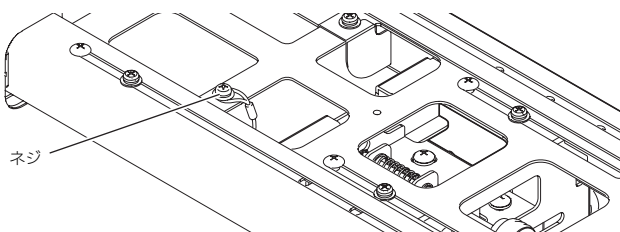


## 5. 落下防止ワイヤーの取り付け

1. プロジェクターのフックに、図の様にワイヤーを通します。



2. M5×10ダブルセムスネジで、ワイヤーを金具本体に固定します。



## 6. ケーブル類の接続

1. 手順3-1で通した電源ケーブルなどを、プロジェクターの取扱説明書を参照して接続してください。

# 位置、傾き、角度の調整のしかた

重要!

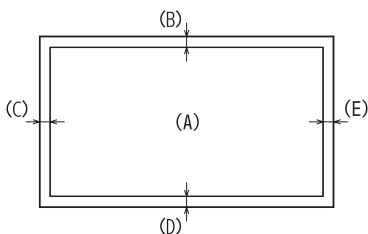


- 傾きや角度を調整する際には、プロジェクターを下からしっかりと保持してください。調整後、すべてのネジを十分に締め直してください。落下事故などの原因となります。

## 投映画面調整の注意

- スクリーンは、ボード式などの表面が平なスクリーンをご使用ください。ロール式など表面がたわんだスクリーンは画面にゆがみが生じるためお勧めできません。また、広視野角タイプ(マットタイプ)をお勧めします。ビーズタイプはスクリーンゲインが高いので適していません。
- はじめにフォーカス調整してから、画面の位置や角度を調整してください。フォーカス調整すると画面のサイズが変わります。
- 電源オンしてから機器が安定するまでの30分程度、または温度・湿度などの周囲環境が変わった場合に、投映位置やフォーカスなどが若干変わる場合があります。フォーカスが変わった場合は再調整をしてください。
- 設置後の変動を考慮して、使用するスクリーンに対して投映サイズが小さくなるように設置してください。
- 設置後しばらくの間は、壁掛け金具やプロジェクター内部のミラーの振動などにより画面の位置が変わることがあります。また、画面のゆがみを考慮し、画面の上下左右の各辺に下図のマーヅンを入れて設置してください。

スクリーンサイズ (A) (型)	上下方向マーヅン (B) (D) (mm)	左右方向マーヅン (C) (E) (mm)
60	20	25
80	25	30
100	30	35



## 位置、傾き、角度の調整のしかた

投映画面の位置がスクリーンに合うように調整します。

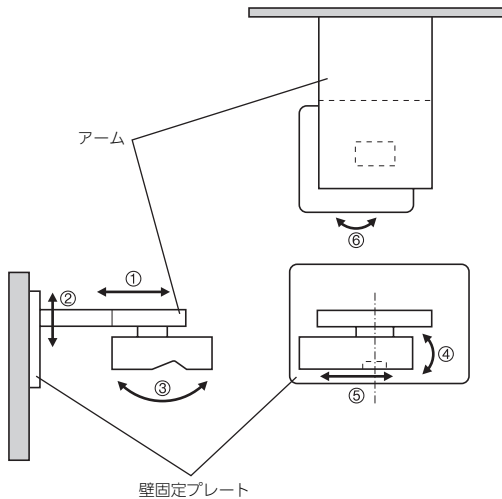
- 以下はプロジェクターの設定が工場出荷時の状態で説明しています。台形補正など、設定を変えている場合、設定により調整も変わりますのでご注意ください。
- プロジェクターの操作は、プロジェクターの取扱説明書を参照してください。

**1. プロジェクターの電源を入れ、ブルーバックの画面を投映します。**

**2. フォーカスを調整します。**

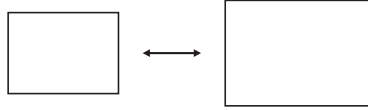
**3. 以下の6箇所を調整をします。**

- ① 投映サイズ調整
- ② 投映画面垂直方向位置調整
- ③ 製品垂直方向角度調整
- ④ 製品水平方向角度調整
- ⑤ 投映画面水平方向位置調整
- ⑥ 投映画面回転角度調整



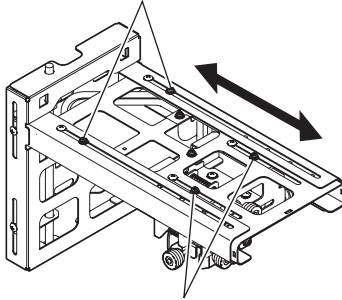
## ① 投射サイズ調整

調整範囲: 50~110型



調整ネジを緩めて投射サイズを合わせ、調整が終わったら調整ネジを締めてください。

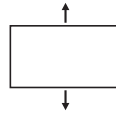
調整ネジ: スクリーンが60型より大きいときは、この調整ネジを緩め、更に大きい方のアームも引き出す



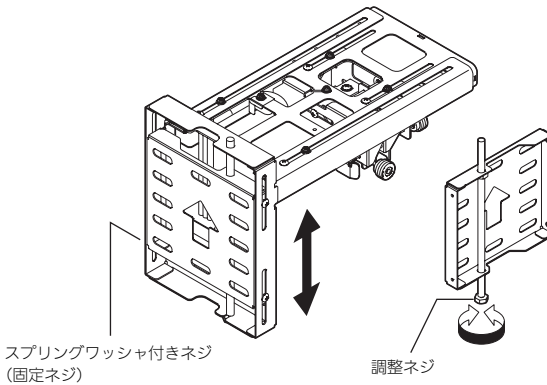
調整ネジ: スクリーンが50~60型のときは、この調整ネジを緩め、小さい方のアームを引き出す

## ② 投射画面垂直方向位置調整

調整範囲:  $\pm 40\text{mm}$



スプリングワッシャ付きネジ(固定ネジ)が締まっていたら、緩めてください。①から⑥の全ての調整が終わったら、最後に締めて固定します。



スプリングワッシャ付きネジ  
(固定ネジ)

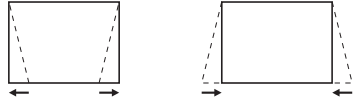
調整ネジ



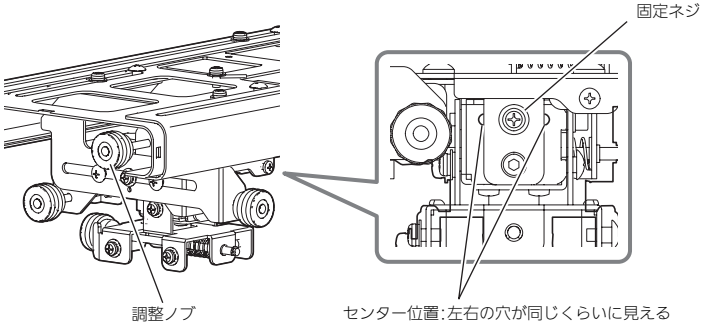
## 位置、傾き、角度の調整のしかた

### ③ 製品垂直方向角度調整

調整範囲:  $\pm 3^\circ$



最初に固定ネジを緩め、調整ノブで調整後、固定ネジを締めて固定してください。



調整ノブ

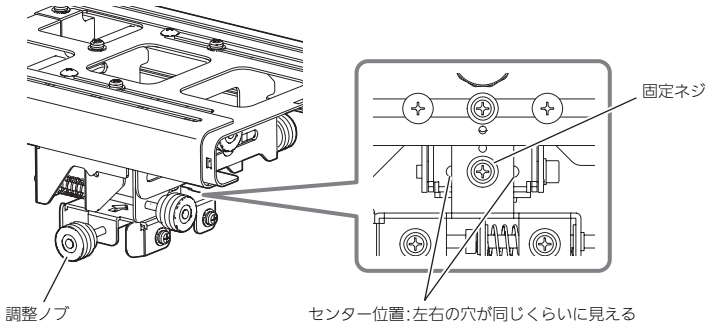
センター位置: 左右の穴が同じくらいに見える

### ④ 製品水平方向角度調整

調整範囲:  $\pm 5^\circ$



最初に固定ネジを緩め、調整ノブで調整後、固定ネジを締めて固定してください。

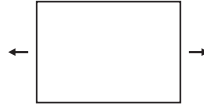


調整ノブ

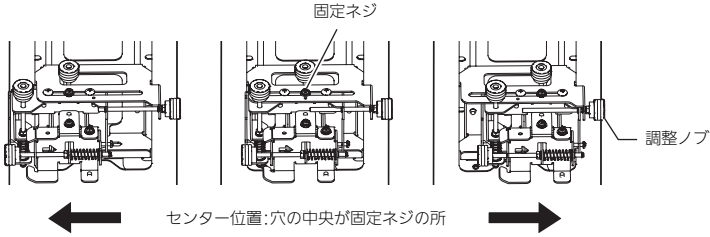
センター位置: 左右の穴が同じくらいに見える

⑤ 投映画面水平方向位置調整

調整範囲: ±30mm

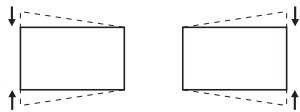


最初に固定ネジを緩め、調整ノブで調整後、固定ネジを締めて固定してください。

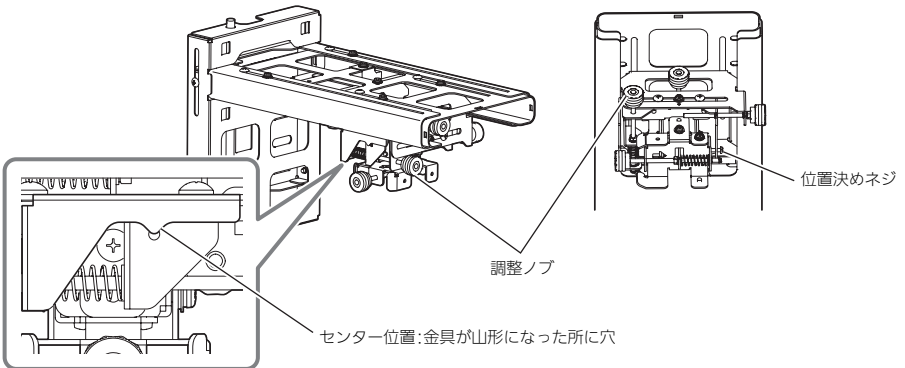


⑥ 投映画面回転角度調整

調整範囲: ±5°

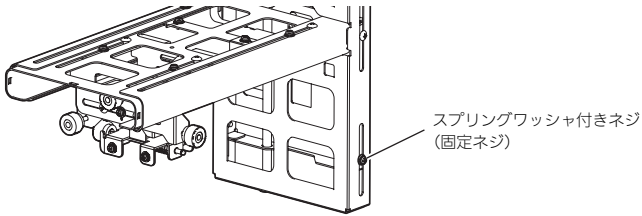


1. 位置決めネジを緩めます。
2. 調整ノブで回転角を調整します。
3. 位置決めネジの先端が、奥の金具にあたるまで締めてください。



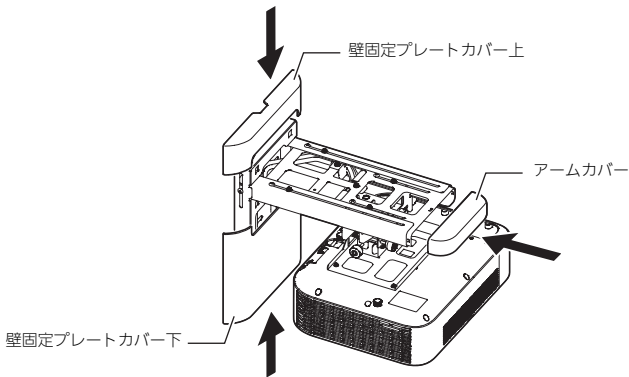
## カバーの取り付け

- ①から⑥の全ての調整が終わったら、スプリングワッシャ付きネジ(固定ネジ)を締めます。



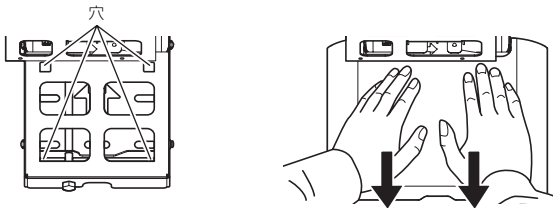
## カバーの取り付け

壁固定プレートカバー上・下と、アームカバーを取り付けます。



壁固定プレートカバー下の取り付け方

1. カバーの裏側のツメ4つを、金具の穴4箇所に合わせて。
2. ツメの真上からカバーを両手で押さえつけながら下にスライドさせます。



## 定期点検について

セット本体と同様に 1 回／年を目安に下記を点検してください。

1. 壁掛け金具のネジのゆるみがないことを確認。
2. 壁掛け金具と製品セットなどにキズ、破損がないことを確認。

## お問い合わせ先

ご不明の点がございましたら、取扱販売店にご連絡ください。

## 製品仕様

外形寸法：幅約200mm × 高さ約270mm × 奥行き約410mm（奥行き最短時、カバー除く）  
質量：約5kg（プロジェクターを除く）

# CASIO®

**カシオ計算機株式会社**

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

**CASIO COMPUTER CO., LTD.**

6-2, Hon-machi 1-chome  
Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan

Printed in Japan  
Imprimé au Japon

MA1407-B

© 2014 CASIO COMPUTER CO., LTD.